

X I 章

https://www.mlit.go.jp/river///shishin_guideline/kasen/suishitsu/youryou.html

第XI章 資料の採取及び現地調査（PDFファイル 1, 359KB）

4) 臭気

臭気は、汚染原因物質の特定に有効な判断材料となることがある。

【測定方法】

- 臭気の判定は、採水直後の水を臭いのしない栓のできる三角フラスコに200～300mL入れ、容器の栓をして振った後に栓を抜いて臭いを嗅ぎ、表2.7の臭気の種類と照らし合わせ強・中・弱を付けて判定する。

【注意事項】

- ・水の臭いは、ごく薄いことが多く、判定直前の喫煙や臭いのきつい食事、石鹸やローション、香水等の香りが無いように使用を控える。
- ・判定の容器は、必ず採水場所の水で2～3回くらいすすいでから使用する。
- ・外観と同様に、個人差が出易い項目なので、1人あたり2回/地点ぐらいで複数の人が判定を行う。

表2.7 臭気の種類とコード（旧建設省コード）

コード	臭気の種類	コード	臭気の種類	コード	臭気の種類
0	無臭	40*	かび臭	73*	アンモニア臭
10*	芳香臭	50*	魚介臭	74*	し尿臭
11*	メロン臭	51*	ハマグリ臭	75*	下水臭
12*	ニンニク臭	60*	油臭:	80*	薬品臭
13*	レモン臭	61*	動物油臭	81*	フェノール臭
20*	植物臭	62*	肝油臭	82*	クロール臭
21*	藻臭	63*	植物油臭	83*	刺激臭
22*	海藻臭	64*	鉱物油臭	84*	洗剤臭
23*	青草臭	65*	タール臭	85*	樟脳臭
24*	木材臭	70*	腐敗臭	91*	パルプ臭
30*	土臭	71*	硫化水素臭	92*	硫黄臭
31*	鉱物臭	72*	メタン臭		
32*	金気臭				

*には、においの弱・中・強に従って「1・2・3」を記入する。

表記例：カビ臭が弱く感じられる場合 401



図2.7 臭気の判定